



2023年12月期 第1四半期

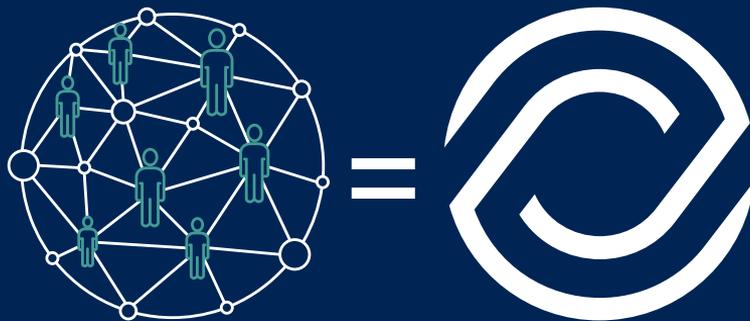
決算説明資料

FINANCIAL RESULTS FOR THE FIRST QUARTER 2023

GAIAX MISSION

人と人をつなげる

EMPOWERING THE PEOPLE TO CONNECT



ガイアックスは、人と人をつなげるため、
ソーシャルメディアとシェアリングエコノミーに注力し、
社会課題の解決を目指すスタートアップスタジオです。

目次

- ハイライト
- 連結業績サマリ
- 事業グループ別業績
- 事業戦略
- 事業課題と方針

当社事業概要



カープアウト企業および投資先企業の株式売却益を
新規事業・投資先へ再投資



2023年12月期 第1四半期 : ソーシャルメディアサービス事業

スナップマーケット株式会社の発行済株式の全てを取得し、完全子会社化
顧客と企業がより密接に関わり体験を分かち合う「価値共創マーケティング」を強化

上流から下流まで一気通貫する、SNSを中心とした統合型マーケティングを提供する体制を構築



2023年12月期 第1四半期 : ソーシャルメディアサービス事業

上流から下流まで一気通貫する、SNSを中心とした統合型マーケティングを提供する体制を構築



Snapmart

クリエイター・プラットフォーム「スナップスマート」を子会社化

クリエイティブ支援における強みに、スナップスマート強みを掛け合わせることで、顧客と企業がより密接に関わり体験を分かち合う「価値共創マーケティング」強化へ



「」 SNAPBOARD

コーディネートスナップを活用した販促支援サービス『SNAPBOARD』がOMO強化

「デジタルサイネージ表示用URL発行機能」を開発し、実店舗とECサイトをまたいだOMO(Online Merges with Offline)による新たな顧客接点の創出と購買意欲の向上をサポート

2023年12月期 第1四半期：インキュベーション事業

他社に先駆けて、実在の組織に DAO (分散型自律組織) を組み合わせるプロジェクトへ取り組み



2023年12月期 第1四半期: インキュベーション事業

web3/DAOへの複数の日本初の取り組みを継続し、DAOに関するお問合せが増加

GAIAX **DAO**
CONSULTING

 Blockchain Biz

当社が開発・支援する『美しい村DAO』
DAOへの参加権&投票権を付与した『美しい村NFT』の予約販売開始

.....

箱根湯本芸能組合と「芸者NFT」の販売を開始

.....

書籍『実践NFT開発入門 ブロックチェーン学習ガイド』発売

.....

博報堂キースリーがローンチする大手企業のweb3課題に挑む専門家集団「KEY3 STUDIO」に参画 ~web3プロジェクトの設計から実行までをワンストップで支援~

2023年12月期 第1四半期：インキュベーション事業

スタートアップ育成 5か年計画で増加する自治体・学校案件受注の土壌づくりの加速



STARTUP SEMINAR
起業ゼミ

起業家教育プログラム、株式会社アルファドライブと全国の中高50校へ無償提供

株式会社NTTドコモの新規事業開発プログラム「39works」の協力の元、「はたらく部×起業ゼミ」探究学習プログラムを提供開始。



JAPAN COMPETITION
EXTREME
TECH
CHALLENGE

SDGs×ディープテックの世界最大規模のスタートアップ・コンテスト「Extreme Tech Challenge (XTC)」の日本大会「XTC JAPAN 2023」ファイナリスト10社に、当社発DAO事業「PlanetDAO」が選出

DAOやスタートアップ支援のお問い合わせ増につながる「ティール組織」「フラットな組織」として紹介される報道が、日経新聞などで増加

2023年12月期 第1四半期 出資先動向



《出資先》住んだ分の家賃で暮らせる部屋「unito」を運営する株式会社Unito
グレーゾーン解消制度を利用し、旅館業法に該当しないことを確認

家賃がかからない日本初のシステム「リレント」につき、利用者はunitoの契約のみで、旅行業を営まずに「リレント」を行えることを確認。また、京王電鉄株式会社、東急株式会社などと「リレント」を搭載物件の提供の取り組む。



《出資先》多拠点ライフプラットフォーム「ADDRESS」を運営する株式会社アドレス
多拠点生活が月9,800円から始められる「新料金プラン」スタート

従来の基本料金月額44,000円のサービスをリニューアルし、毎月9,800円から多拠点生活をライトに使える新料金プランを提供開始。



《出資先》eKYC本人確認サービス「TRUSTDOCK」を提供する株式会社TRUSTDOCK
TRUSTDOCKが主導する「民間事業者向けデジタル本人確認ガイドライン」が公表

富山県実証実験プロジェクト「Digi-PoC TOYAMA」にてデジタル身分証の有効性を証明

2023年12月期 第1四半期 出資先動向



《出資先》カスタマーサクセスソリューション・プロバイダーのアディッシュ株式会社
スタートアップでカスタマーサクセスを実現できる人材紹介サービスの提供開始

スタートアップの成長に欠かせないカスタマーサクセスを実現できる人材の紹介。アディッシュ独自の教育プログラム「カスタマーサクセスプライムラーニング(CSPL)」で未経験人材の育成も行う。



《出資先》ITエンジニア向けリスキリングSaasを提供する株式会社テックピット
富士通ラーニングメディア社と業務提携し、Sler向けIT技術者のリスキリング・人材育成を強化

「つくることを楽しむ」実践中のエンジニアのためのコミュニティ“Digital Reskilling Lab.”を開設することで、互いに教え合い、学び合う場を提供。



《出資先》B2Bマーケティング支援の株式会社才流
パートナーセールスの立ち上げ・強化支援を行うコンサルティングサービスを提供開始

日本国内企業におけるパートナーセールスの導入率の上昇に伴い、パートナーセールス支援を正式なサービスメニューとして提供開始。

目次

- ハイライト
- 連結業績サマリ
- 事業グループ別業績
- 事業戦略
- 事業課題と方針

2023年12月期 第1四半期 振り返り

連結業績

| | | | |
|-------|--------|--------|-------|
| 売上高: | 603百万円 | 前年同期比: | 7.5%増 |
| 営業損益: | △35百万円 | | |

ソーシャルメディアサービス事業

| | | | |
|-------|--------|--------|-------|
| 売上高: | 480百万円 | 前年同期比: | 6.1%増 |
| 営業損益: | 94百万円 | 前年同期比: | 6.9%減 |

インキュベーション事業

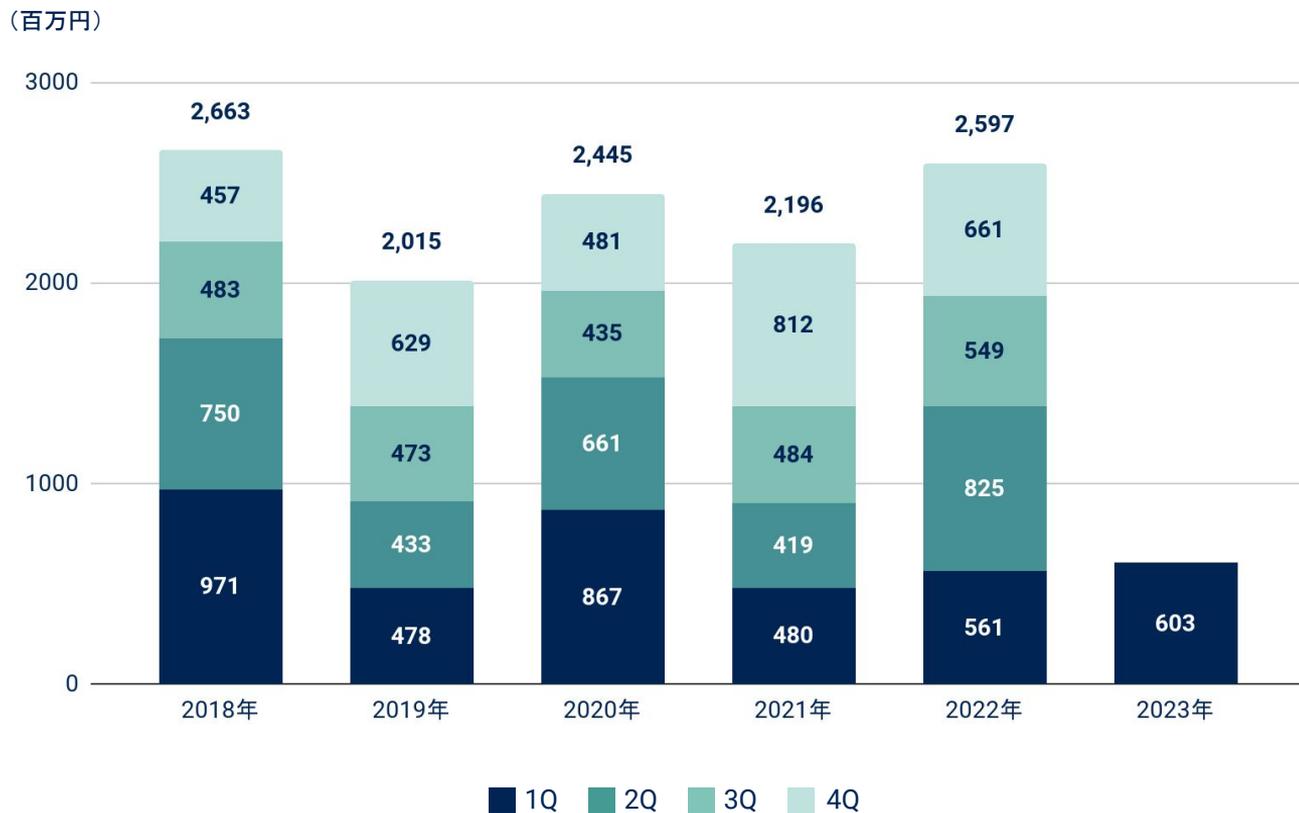
| | | | |
|-------|--------|--------|--------|
| 売上高: | 128百万円 | 前年同期比: | 10.2%増 |
| 営業損益: | △37百万円 | | |

連結売上高の推移

前年比+7.5%

ソーシャルメディアサービス事業における、SNSを中心とした統合型マーケティング支援の受注増が大きく寄与

アディッシュ株式会社およびその子会社は2018年1月に、EDGE株式会社は2021年1月に連結除外となっております。

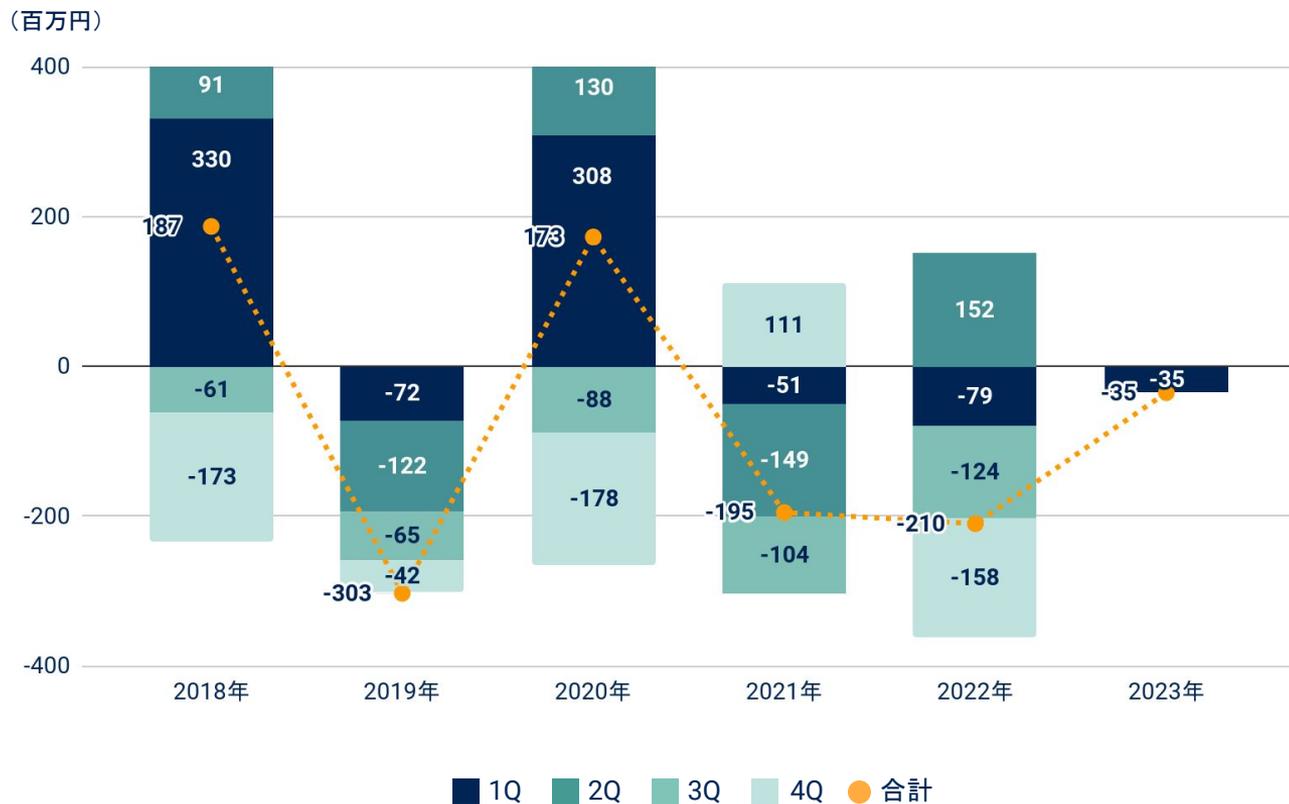


連結営業損益の推移

ソーシャルメディアサービス事業セグメントは体制強化に伴う人員増により利益額が減少

一方、インキュベーション事業セグメントは売上回復およびコストコントロールにより赤字額を縮小

アディッシュ株式会社およびその子会社は2018年1月に、EDGE株式会社は2021年1月に連結除外となっております。



2023年12月期 第1四半期 連結PL(四半期会計期間比較)

インキュベーション事業の
コストコントロールにより販管費減少

| 単位:百万円 | 2022年12月 期第1四半期 | 2023年12月 期第1四半期 | YoY | 2022年12月 期第4四半期 | 2023年12月 期第1四半期 | QoQ |
|---------------------|--------------------|--------------------|-------|--------------------|--------------------|--------|
| 売上高 | 561 | 603 | +7.5% | 661 | 603 | -8.7% |
| 売上総利益 | 354 | 360 | +1.4% | 358 | 360 | +0.5% |
| 販売費及び一般管理費 | 434 | 395 | -8.9% | 517 | 395 | -23.6% |
| 営業損益 | △ 79 | △ 35 | - | △ 158 | △ 35 | - |
| 経常損益 | △ 69 | △ 33 | - | △ 157 | △ 33 | - |
| 親会社株主に帰属する 当期純損益 | △ 66 | △ 33 | - | △ 336 | △ 33 | - |

2023年12月期 第1四半期 連結B/S

スナップマート株式会社の子会社化に伴うのれん代により固定資産が増加。

| 単位:百万円 | 2022年12末 | 2023年3末 | 増減 |
|----------------|--------------|--------------|-------------|
| 流動資産 | 2,128 | 2,072 | △ 55 |
| 現預金 | 697 | 475 | △ 222 |
| 受取手形・売掛金 | 288 | 349 | + 61 |
| 営業投資有価証券 | 1,090 | 1,182 | + 92 |
| その他 | 52 | 66 | + 13 |
| 貸倒引当金 | 0 | △ 1 | 0 |
| 固定資産 | 76 | 149 | + 73 |
| 有形固定資産 | 18 | 31 | + 13 |
| 無形固定資産 | 0 | 61 | + 60 |
| 投資その他の資産 | 56 | 56 | 0 |
| 総資産 | 2,204 | 2,222 | + 18 |
| 流動負債 | 487 | 465 | △ 21 |
| 支払手形・買掛金 | 61 | 91 | + 30 |
| 短期・1年内返済長期借入金 | 40 | 31 | △ 9 |
| その他 | 385 | 342 | △ 42 |
| 固定負債 | 385 | 399 | + 13 |
| 長期借入金 | 69 | 61 | △ 8 |
| 繰延税金負債 | 280 | 310 | + 30 |
| リース債務 | 7 | - | △ 7 |
| その他 | 28 | 27 | △ 1 |
| 純資産 | 1,331 | 1,357 | + 26 |
| 株主資本 | 648 | 615 | △ 33 |
| その他の包括利益累計額 | 646 | 706 | + 59 |
| 新株予約権 | 35 | 35 | 0 |
| 負債純資産合計 | 2,204 | 2,222 | + 18 |

目次

- ハイライト
- 連結業績サマリ
- 事業グループ別業績
- 事業戦略
- 事業課題と方針

ソーシャルメディア サービス事業 連結売上高の推移

SNSマーケティング支援を、
統合型マーケティング支援へ
とサービス拡張したことによ
る受注増にて、引き続き売上
高増加

アディッシュ株式会社およびその子会社は2018
年1月に、EDGE株式会社は2021年1月に連結
除外となっております。



ソーシャルメディア サービス事業 連結営業損益の推移

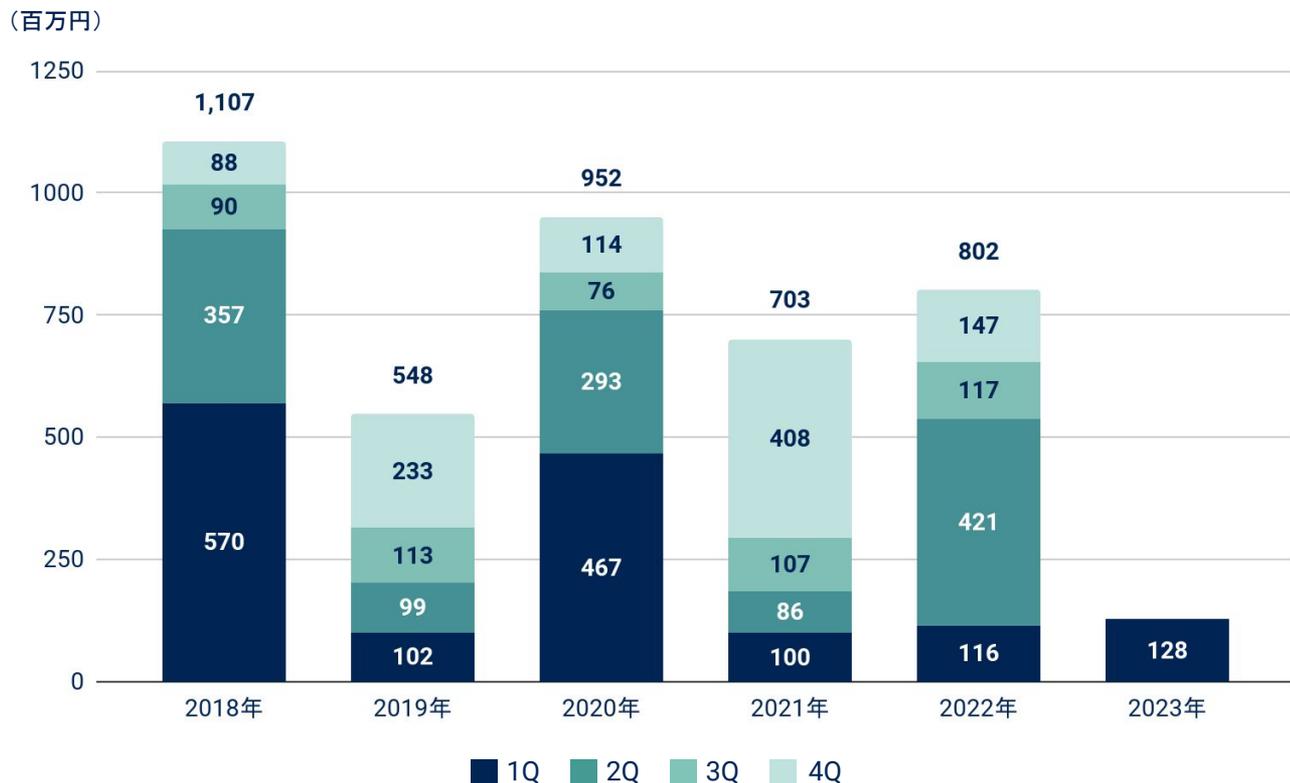
事業体制の強化を目的とした従業員の増加により利益額が減少

アディッシュ株式会社およびその子会社は2018年1月に、EDGE株式会社は2021年1月に連結除外となっております。



インキュベーション事業 連結売上高の推移

経済活動の回復に伴い、
シェアオフィス事業や地域体
験マッチングサービスの売
上が徐々に回復



インキュベーション事業 連結営業利益の推移

引き続き投資フェーズであるため、外注費などの投資が続くも、コストコントロールにより赤字額は縮小



2023年12月期 業績見通し

ソーシャルメディアサービス事業については、SNSマーケティング・インフルエンサーマーケティング市場は、引き続き成長が見込まれており、当社がノウハウを蓄積してきた SNS運用代行・マーケティング支援をさらに進化させ、クリエイティブの提供とデータ解析を加えた統合型マーケティングを継続的に提供することで、売上高増加を図ってまいります。

インキュベーション事業においては、政府によるスタートアップ支援の環境整備が進んでいく見込みであり、当社が培ってきたスタートアップ支援コンサルティングのニーズが高まっており、自治体等に積極的に展開していく予定であります。また、新規事業としてweb3やDAOに注力してまいります。市況は不透明であり、開発コスト及び人件費等が増加するものと想定しております。

| 単位: 百万円 | 2022年12月期 | 2023年12月期 | YoY |
|-----------------|-----------|-----------|-------|
| 売上高 | 2,597 | 2,700 | +3.9% |
| 営業損益 | △ 210 | 50 | - |
| 経常利益 | △ 174 | 40 | - |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | △ 341 | 30 | - |

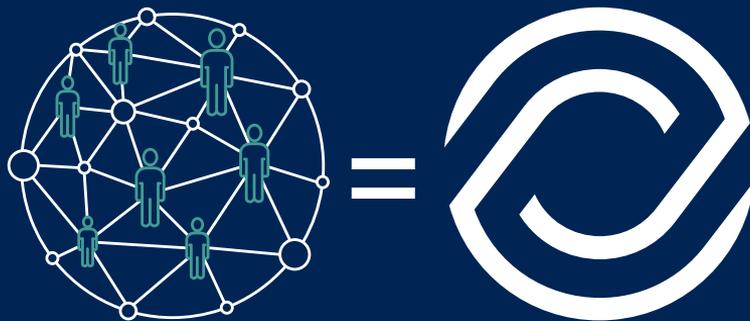
目次

- ハイライト
- 連結業績サマリ
- 事業グループ別業績
- 事業戦略
- 事業課題と方針

GAIAX MISSION

人と人をつなげる

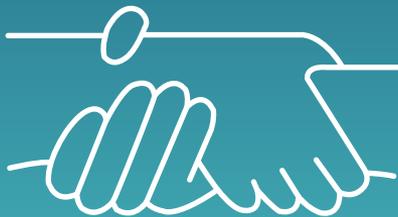
EMPOWERING THE PEOPLE TO CONNECT



ガイアックスは、人と人をつなげるため、
ソーシャルメディアとシェアリングエコノミーに注力し、
社会課題の解決を目指すスタートアップスタジオです。

人と人がつながる社会とは

世界中の誰もが、他人のことを自分のことのように感じ、
互いが互いを自然と助け合う社会



現在の社会課題



環境汚染



大量生産・大量消費



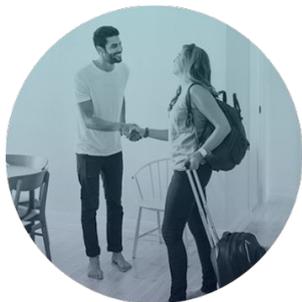
大量廃棄



飢餓・貧困

資本主義の枠組みでは解決できない課題

現在の社会課題



共通リソースの共有



共助による社会インフラ



資源の再分配



コミュニティの創生

シェアリングエコノミー、web3/DAOで持続可能な社会を作る

将来の市場成長を見据え、特に注力している事業領域

最先端のテクノロジー・市場分野を通じて「人と人をつなげる」を加速させるため、
生活者同士の情報や感情を共有できる **ソーシャルメディア領域**、
モノや時間を共有できる **シェアリングエコノミー領域**、
ブロックチェーン技術により自律駆動する社会を実現する **web3・DAO領域**に注力しています。



SOCIAL MEDIA

ソーシャルメディアコンサルティング、クリエイティブコンテンツ制作、運用代行やビッグデータリサーチ、投稿監視までワンストップソリューションを提供しています。



SHARING ECONOMY

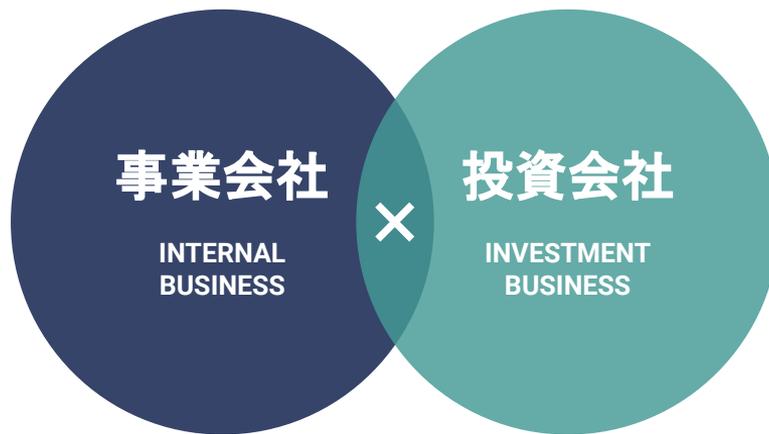
シェアプラットフォームの受託開発から運用まで、またガイアックスのスペースシェア、体験シェアの BtoC 向けのプラットフォームを提供しています。



web3・DAO

プラットフォーム主体ではなく個人がより主体となったプロダクトの開発や、民主的な組織運営を可能とするDAO(自律分散型組織)化を推進するコンサルティング・研修を提供しています。

社内事業と投資事業がハイブリッド型になった カーブアウト機能を持つ独自のビジネスモデル



カーブアウト: 会社分割の一種で、親会社が戦略的に子会社や自社の事業の一部を切り出し (carve out)、新会社として独立させること。

GAIAX INTERNAL BUSINESS

事業会社

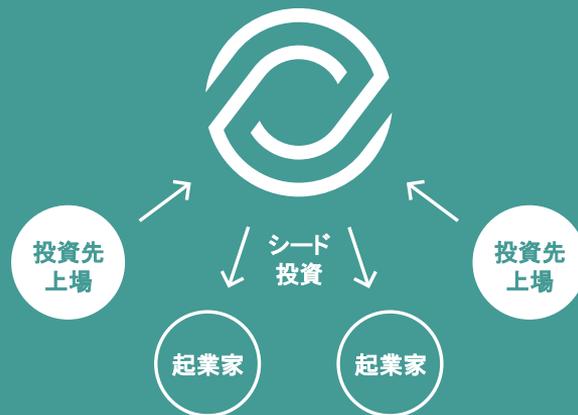
ソーシャルメディアマーケティング事業や
シェアリングエコノミーサービス事業などによる、
事業収益（インカムゲイン）を目指します。



GAIAX INVESTMENT BUSINESS

投資会社

社内外のスタートアップ企業へ投資し、
投資先企業が上場した際に利益を得る
投資収益（キャピタルゲイン）を目指します。



社内から連続的に起業家を輩出

これまで、投資先の卒業生の創業企業から4社が株式公開



2015年9月 東証マザーズ上場

時価総額 40億円
持分比率 7.56%



2015年10月 東証マザーズ上場

時価総額 81億円
持分比率 17.86%



2020年3月 東証マザーズ上場

時価総額 20億円
持分比率 41.79%



2021年11月 東証マザーズ上場

時価総額 228億円
持分比率 3.82%

※時価総額および持分比率は新規公開当時のものです。

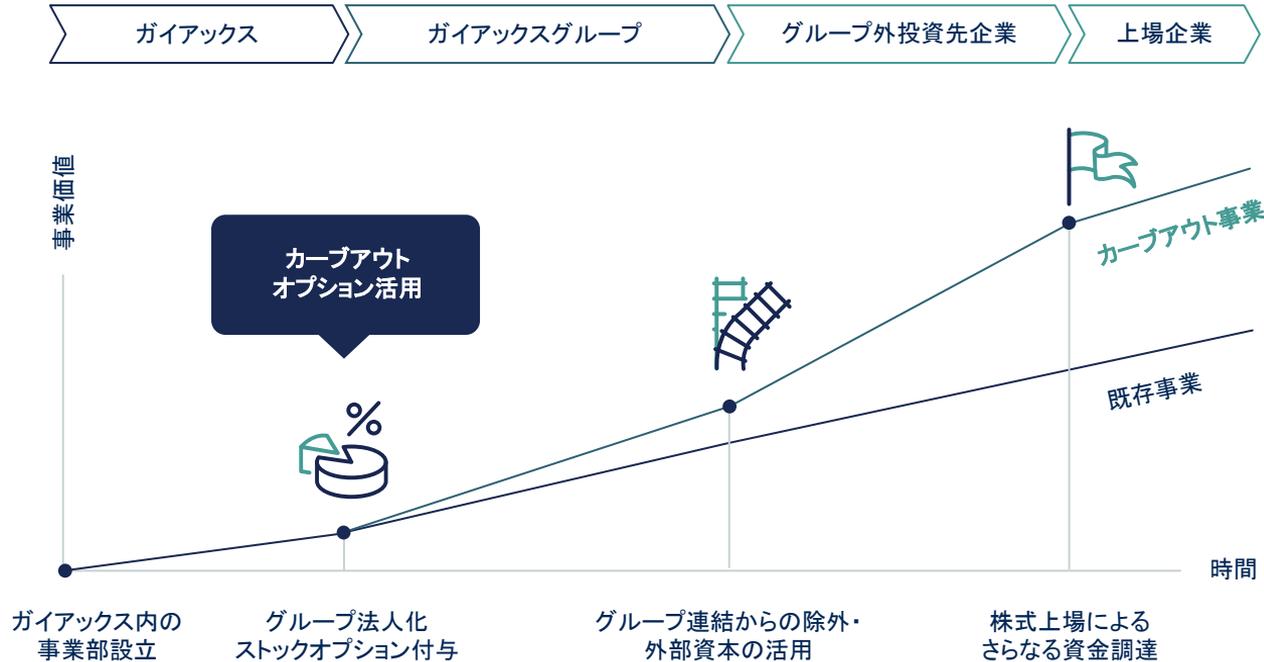


今後、「時価総額 数百億円 × 持分比率 10~30%」を目指す

この実現を目指し、優秀な人材獲得の強化
また、各事業部へのオーナーシップを付与による成長

カーブアウト機能を活用した事業の成長加速

事業単位でカーブアウト(法人化)し、外部を含めたリソースを活用



カーブアウトオプション制度活用事例

事業成長を最大化させる取り組みを実施



これまでの振り返りと今後の経営方針

ソーシャルメディアサービス事業

SOCIAL MEDIA BUSINESS

売上増加率

僅か

営業利益率

20%



年成長率

10%
以上

営業利益率

20%

インキュベーション事業

INCUBATION BUSINESS

営業投資有
価証券の売却に
依存して不安定



コスト
コントロールと
投資規律の徹底

連結売上・利益・配当

CONSOLIDATED PROFIT & SALES

売上 全社経費込みの利益 配当

不安定

赤字

無配



売上 全社経費込みの利益 配当

安定
成長

黒字

継続的
な配当

2023-2027年度 中期経営方針 業績目標



株主還元方針

重要経営課題

株主への継続的な利益還元

収益性の向上と経営基盤の強化を推し進め、継続的な配当を目指します。

2023年12月期
期末配当額(予定)

5円

長期的な
利益成長重視



長期的な成長を
目指しつつ安定配当へ

流動性向上
も目指す

目次

- ハイライト
- 連結業績サマリ
- 事業グループ別業績
- 事業戦略
- 事業課題と方針

2023-2027年度 中期経営方針 各事業セグメントの振り返りと今後の方針

ソーシャルメディアサービス事業

SOCIAL MEDIA BUSINESS

SNS運用代行・マーケティング支援にクリエイティブ提供とデータ解析の専門組織を拡充し、近年は売上が伸長。



統合型マーケティングを提供。データ解析による継続的なコミュニケーションにより売上・利益成長。

年成長率

10%
以上

営業利益率

20%

インキュベーション事業

INCUBATION BUSINESS

投資先の卒業生創業企業から4社が株式公開。カーブアウトからの上場も再現性がある状態に。

社外投資は回収までの年月が長く損失が先行。さらにIPO後の売却時期をコントロールできず、P/L業績が不安定。



投資パフォーマンスの高い創業時出資、カーブアウトをメインとした事業投資に特化。そして、web3/DAOを第三の事業の柱に。

事業投資

web3
DAO

社外投資
時価総額 持ち分比率

数百
億円 10~30
%

インキュベーション事業の投資注力分野

これからのガイアックスの投資注力分野 web3/DAO



ソーシャルメディア



シェアリングエコノミー

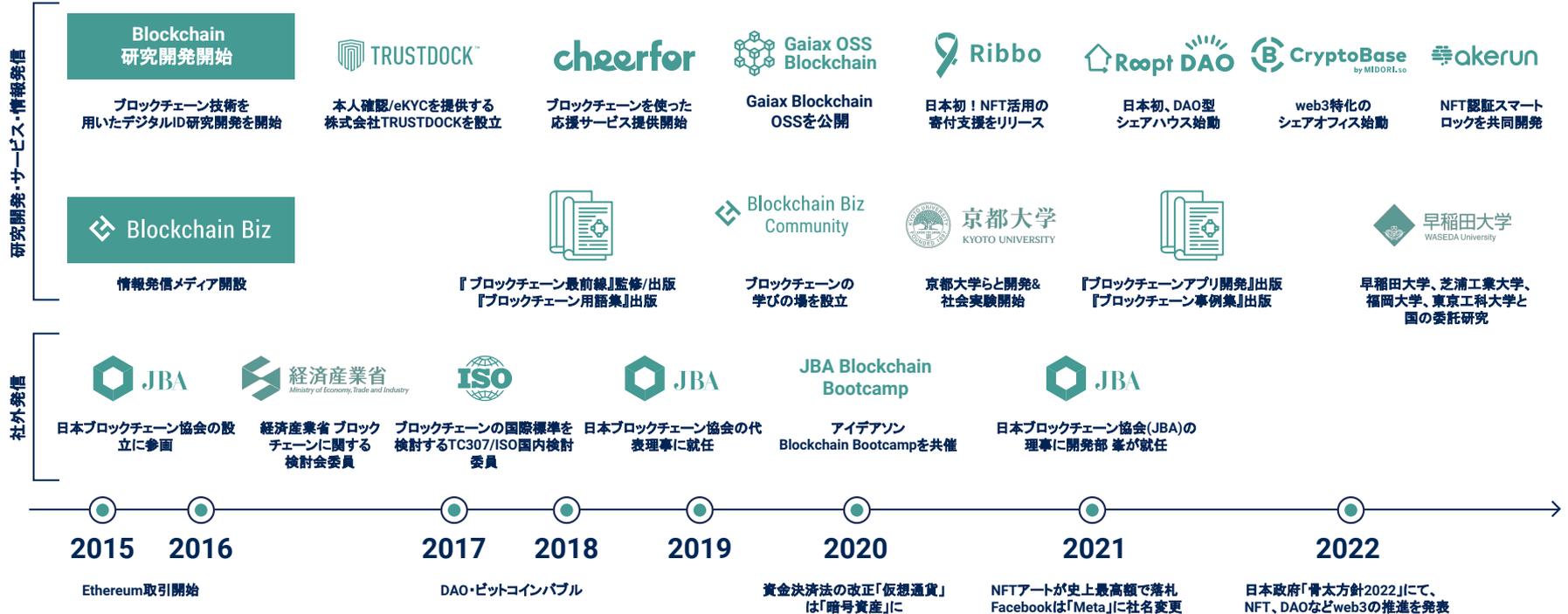


web3/DAO

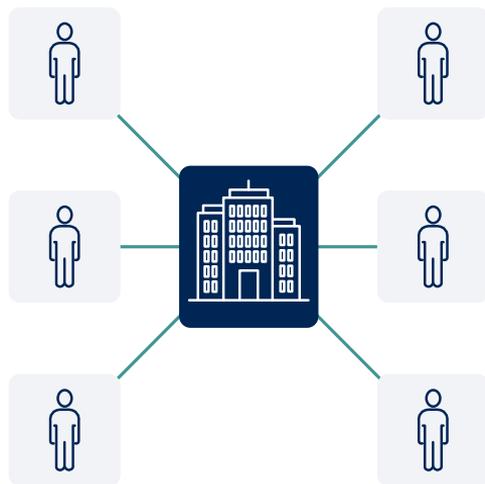
web3/DAO事業をソーシャルメディア、
シェアリングエコノミーに続く第3の事業の柱に

ガイアックスによるブロックチェーンへの取り組み

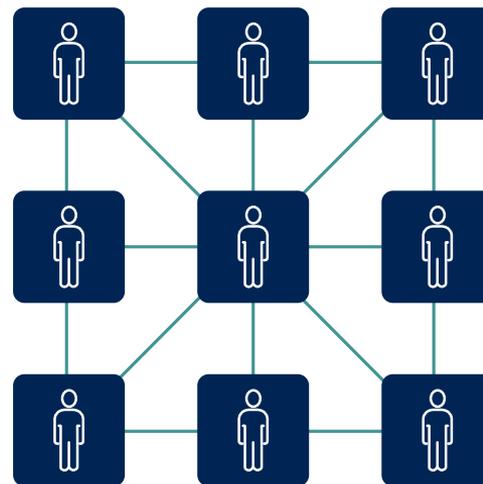
2015年より、個人が主体となる社会を見据え、非金融分野でのブロックチェーン活用に関する研究・開発への取り組みを開始



web3/DAOの世界が急拡大する



プラットフォームが
信頼性を担保



ブロックチェーンが
信頼性を担保

web2

web3

web3/DAOで、従来のビジネスのマーケティングも変化

web2

ブログ、SNS

ロコミ



web3

ユーザーとの共創

行動(参加)

DAO

Decentralized Autonomous Organization

分散型自律組織

=

多くの人が参画し共創できる仕組み

貢献

報酬

投票



より一層SNSはじめ、ファン・コミュニティのマネジメントが重要に
つまり、ソーシャルメディア活用支援事業の拡大

web3/DAOを、ソーシャルメディア、シェアリングエコノミーに続く第三の柱に



シェアリングエコノミー事業

DAO活用事業およびDAO化支援事業

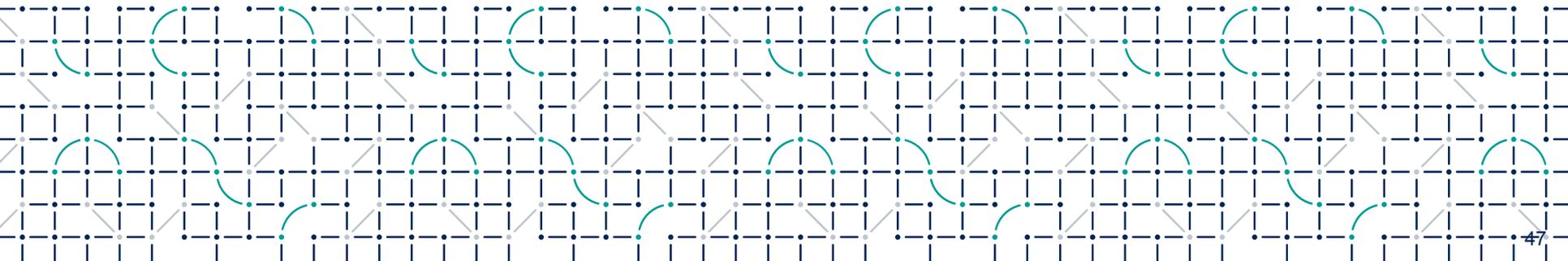
人と人がつながる社会を実現

注意事項

- 本資料における見通し、戦略等は、弊社を取り巻くさまざまな要素により大きく異なることも考えられます。将来の戦略、業績等につきましては、ご説明申し上げます内容と異なる可能性がございます。
- 本資料の記載内容のうち、歴史的事実でないもの、当社の現在の計画、戦略、見込み等、既に確定した事実でないものはガイアックスの将来に関する見通しおよび計画に基づいた将来予測です。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は、記載の見通しと異なる可能性があることをご了承ください。
- また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に弊社が将来の見通しを見直すとは限りません。
- 本資料の掲載内容の全てもしくは一部につき、当社の事前の承諾なく、私的利用その他法律によって認められている範囲を超えて、複製、改変、転用、掲示、送信、領布、ライセンス、販売、出版等することを禁止いたします。
- 掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りによって生じた損害等に関し、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。



APPENDIX



会社概要

2023年3月末時点

| | | | |
|------|--|-------|--|
| 会社名 | 株式会社ガイアックス Gaiax Co.Ltd. | 従業員数 | 128名 (連結・正社員) |
| 企業理念 | ガイアックスは、「人と人をつなげる」を企業理念とし、人と人とのコミュニケーションの促進や、コミュニケーションを行うサービスや事業の創造に力を注ぎ、世の中全体を思いやる社会の実現に取り組んでいます。 | 事業内容 | ・ソーシャルメディアサービス事業 ・シェアリングエコノミー事業 ・インキュベーション事業 |
| 代表者 | 代表執行役社長 上田 祐司 | 上場市場 | 名古屋証券取引所 ネクスト市場 証券コード 3775 |
| 設立 | 1999年3月5日 | 発行株式数 | 5,337,452株 |
| 資本金 | 149百万円 | 株主数 | 2,302名 (2022年12月末時点) |
| 本社 | 〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-5-3 Nagatacho GRiD | 決算 | 12月 |

インキュベーション事業 投資先パイプライン

アーリーステージ

IPO等

バリューアップ

 CO-NECT

Web受発注システム

 TRUSTDOCK

API型本人確認サービス

 SHARE CYCLE

シェアサイクル

 SPACEE

会議室シェア

 Techpit

プログラミング教材

 FEMMA

ブランド支援

 Runtrip

ランニングシェア

 NOKI SAKI BUSINESS

スペースシェア

 anyCarry

シェア型のデリバリー

 OTERA STAY

寺社民泊体験

 MIDORI.s o

シェアオフィス

 つなげと

体験シェアアプリ

 SAIRU

マーケティング支援

 Dog Huggy

ペット版民泊

 nutte

縫製マッチング

 nesto

オンライン教室

 巻組

空き家活用シェアハウス

 ADDRESS

住み放題シェアハウス

 unito

サブスク住居

 Timee

ワークシェアアプリ

 百戦 鍾磨

地域民泊

 EDGE

社内SNS・働き方支援

 Home Trimmer

自宅出張トリミング

 Anyflow

iPaaS
(Integration Platform as a Service)

 Photosynth

2021年11月 東証マザーズ上場

 adish

2020年3月 東証マザーズ上場

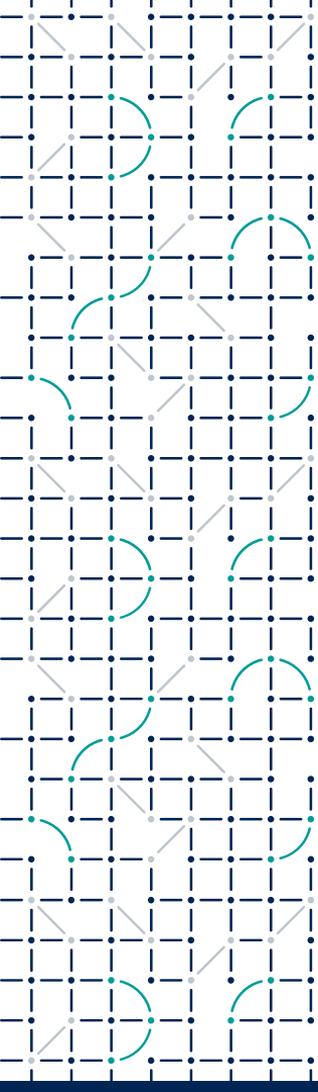
 APPBANK

2015年10月 東証マザーズ上場

 PIXTA

2015年9月 東証マザーズ上場

※掲載の投資先は一部です。



シェアリングエコノミー・web3/DAO市場への取り組み

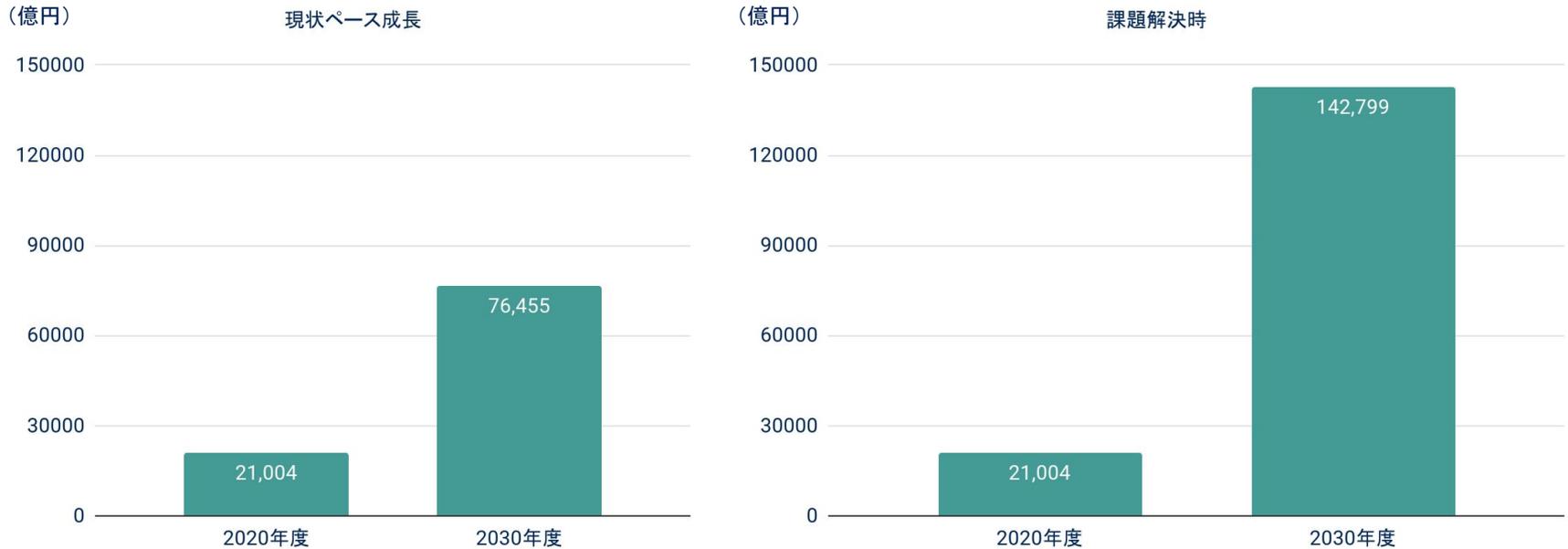
SNSを起点に拡大するシェアリングエコノミー、DAO領域



※一般社団法人シェアリングエコノミー協会および株式会社情報通信総合研究所調べ

拡大するシェアリングエコノミー領域

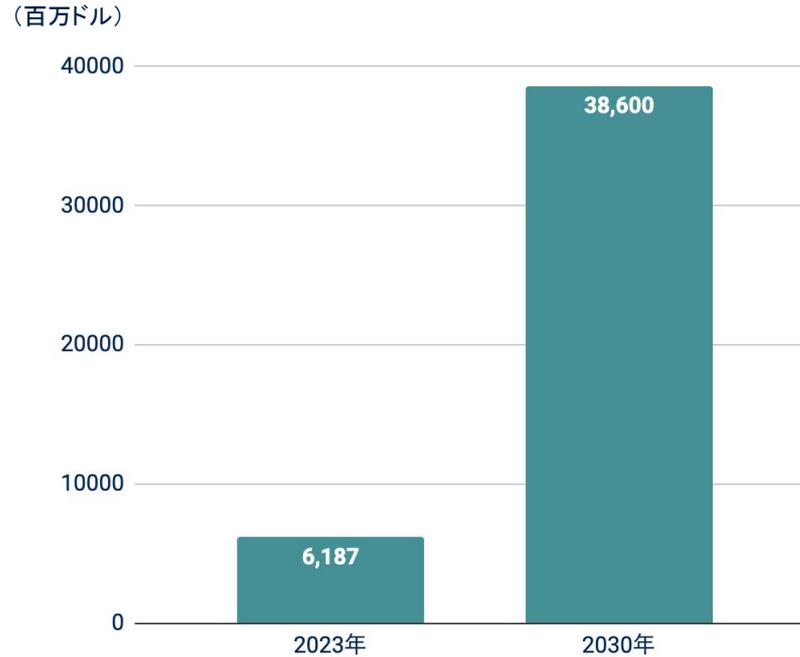
法制度の整備が進む等、市場成長の課題が取り除かれれば
国内シェアリングエコノミー市場は 2030年度に14兆円を超える規模に達する見込み



※一般社団法人シェアリングエコノミー協会および株式会社情報通信総合研究所調べ

爆発的な拡大が見込まれるweb3市場

web3の世界市場は2023年に61億8730万ドル(約7,000億円)の見込み
年平均成長率44.6%のもと、2030年には386億ドル(約42兆円)に達する予測



※ Web 3.0 Blockchain Market Research Report Information By Blockchain Type (Public, Private, Consortium and Hybrid), By Application (Cryptocurrency, Conversational AI, Data & Transaction Storage, Payments and Smart Contracts) By Vertical (BFSI, E-commerce & Retail, Media & Entertainment, Healthcare & Pharmaceuticals and IT & Telecom), and By Region (North America, Europe, Asia-Pacific, and Rest Of The World) - Forecast Till 2030